

GRENE 雪氷課題全体集会

日時:3月26日9:30から27日15:00まで

場所:極地研 南極観測棟 3階 多目的会議室

3月26日(水)

1. GRENE 全体、雪氷課題の状況説明(榎本)

9:30-10:00

2. グリーンランド氷床セッション (座長 杉山慎)

10:00-10:20 杉山慎

グリーンランド氷床課題におけるこれまでの成果と今後の展望

10:20-10:40: 津滝俊

現地観測と衛星データ解析によるカ氷河・氷帽質量減少の定量化(仮題)

10:40-11:00: 榊原大貴

グリーンランド北西部におけるカービング氷河の末端位置と流動変化(仮題)

11:00-11:10: 休憩

11:10-11:30 齊藤潤

精密 DEM の比較によって明らかになったグリーンランド北西部の氷帽質量減少

11:30-11:50 丸山未妃呂

現地観測データに基づいたカナック氷帽の変動解析

11:50-12:10 的場澄人

グリーンランド北西部における涵養量の時空間分布(仮題)

12:10-13:00 昼食

13:00-13:20 青木輝夫

積雪不純物と衛星リモートセンシングの報告

13:20-13:40 大橋良彦

氷床からの淡水流入が海洋に与える影響 —北西部における試行研究—

13:40-14:00 齋藤冬樹

数値モデリングによるグリーンランド氷床の質量変動予測

14:00-14:20 奥野淳一, 齋藤冬樹, 阿部彩子, 高橋邦生

グリーンランドにおける氷床変動と地殻変動

3. 山岳氷河セッション（座長 大畑哲夫）

14:20–14:40 大畑哲夫

氷河サブ課題の概要、進展および成果と今後

14:40–15:00 門田勤

スントル・ハヤタ北部山塊における氷河縮小とその要因について

15:00–15:20 白川龍生

シベリア観測結果のデータアーカイブ登録状況及び今後の利用について

15:20–15:35 休憩

15:35–15:45 中澤文男

東シベリア・スントルハヤタ氷河中で発見された昆虫の 14C 年代測定(仮題)

15:55–16:25 Fedorov, Alexander(ヤクーツク凍土研)

Recent condition of glaciers and permafrost in Suntar-Hayata under recent climate Change

16:25–16:45 Zhang Yong、大畑哲夫

モデル計算による北極域氷河変動再現・予測の計画(仮題)

16:45–17:05 紺屋恵子

北極域氷河周辺の気象データ、HYOGA2 計算値と実測値の比較(一部)

4. 寒冷陸域情報（座長:榎本浩之）

17:05–17:25 ヌアスムグリ・アリマス

マイクロ波衛星観測による GRENE 北極観測域各地の融雪状況

17:25–17:45 榎本浩之

寒冷陸域情報全体の紹介

5. 国際状況についての説明「北極雪氷研究推進等に関する国際的状況」(大畑)

17:45–18:15

19:00 懇親会

3月27日(木)

6. 雪氷生物セッション (座長 竹内望)

9:00-9:30

雪氷上の微生物が北極圏の氷床、氷河、積雪に与える影響評価
竹内望(千葉大)

9:30-9:50

2. 赤雪観測に基づいた雪氷微生物モデルの開発および積雪アルベド物理モデルへの適用
大沼友貴彦(千葉大)

9:50-10:10

3. 北半球の雪氷藻類群集の地理分布と温暖化の影響
田中聡太(千葉大)

10:10-10:30

4. 遺伝子解析からみる北極圏の雪氷微生物の分散と進化過程
瀬川高弘(極地研)

10:30-10:50 休憩

7. 積雪セッション (座長 杉浦幸之助)

10:50-11:10 杉浦幸之助

北極積雪の変容と気候システムへの影響課題のこれまでと今後

11:10-11:30 堀雅裕

衛星観測データによる積雪変動の実態解明

11:30-11:50 平沢尚彦・○杉浦幸之助・保坂征宏・Trofim Maximov

ヤクーツクにおける高精度降雪観測

11:50-12:10 東久美子

北極積雪中のブラックカーボン及びダストの空間分布に関する研究
-研究の目的・これまでの成果・今後の展望-

12:10-13:00 昼食

13:00-13:20 小川佳美、東久美子、杉浦幸之助、近藤豊、大畑祥、森樹大、茂木宏信、
Martin Irwin、青木輝夫、朽木勝幸、榎本 浩之、平林 幹啓、Remi Dallmayr
北極域の積雪中ブラックカーボン濃度

13:20–13:40 永塚尚子・小川佳美・東久美子・杉浦幸之助・榎本浩之・山田廣宣・中野孝教
北極域の積雪中に含まれるダストの Sr-Nd 同位体比を用いた供給源推定

13:40–14:10

光吸収性エアロゾルによる雪氷アルベドの変化を通じた北極気候影響の研究
近藤豊・東久美子・小池真

8. 全体討論

14:10–15:00